

【第10回大会】各区からの意見・要望

意見・要望	回答・第11回改善事項
今後続けていくとするなら、スタッフはボランティアを募って行ってほしい。 この時期は稲刈りがあつたりして各自が忙しい上に、祭りやたくさんの行事への参加が要請されるため町内役員は忙しい。	一般ボランティアについては、募集をしています。例年数十名ほど申込のため、それだけでは大会運営は難しい状況です。例年どおり、スタッフは、市民・職員・区・スポ協・市職員へ動員依頼(募集)を行っていきたい。 市の職員も責任者など、特別な任務以外は一般ボランティアとして従事しています。
区の割当動員数確保に多少苦労しました。一般から広く募集して、不足人数を動員したらどうでしょうか。	
自治会に対して、ボランティア依頼はよいと思いますが、市の職員も完全なボランティアですか。	
ボランティアを募って、足りない場合のみ各自治組合役員に依頼する様にしてほしい	
もしこれまで同様町内役員にスタッフを要請するなら、相応の手当は出すべきと考える。都合が悪くて他の者に代わってもらおうにも何の手当もない仕事を頼むわけにもいかず、無理をして受けるしかない状態となる。	ボランティアとして依頼するので手当としての支給は行いませんが、何か現物で支給ができないか検討していきたいと考えています。 第11回大会より、全ボランティアへ食券、またはお弁当を配布しました。
町一区の場合、朝8時から昼12時過ぎまで5時間近くを交代要員なしで路上に立ちっぱなし。ゴール近くを担当した区には食事の補助券が出たようだが、出すなら全ての区に出すべき。また、そういったことは説明会できちんと伝えておくべきことだと思う。	
弁当が出る地区と出ない地区があり、不満が出ていた。終了時間によって出る出なくなったようであるが、最初から出る地区、出ない地区を周知して欲しかった。	
要請されて来た警備会社職員は労働条件の関係だと思うが、1時間交代で仕事をしており、もちろん報酬が払われる。一方、町内役員は同じ仕事をしているのに交代なし、報酬なしはまずいのではないかな。	
自家用車を侵入禁止場所に停めて侵入を防ぐ役割をさせるのは、補償を明確にしての依頼にしてほしい。そこに車両は入ってこないが、多くの人がそこを通っていくわけで、自家用車の脇を通行する際に悪気がなくても擦ってしまったり靱などが当たってしまうことは十分考えられる。また、何の表示もない車が侵入禁止の所に停まっていれば、それを見た人は不審に思うはず。「関係車両」の張り紙くらいは用意すべき	ボランティア保険に加入しますが、車両保険の加入は難しいとのことでした。 第11回大会は、警察署と確認し、自家用車で侵入禁止場所を物理的に停める対応はしていません。
交差する道路の辻にて、警備をしながら応援していたが、各箇所一人になるため、応援という面からすると、少々寂しい応援となっていた。各自が乗ってきた車両で通行止めにするのであれば、その措置後、1カ所に集まって応援をした方が効果的だと思います。	安全面、万が一を考え、走路員ボランティアとしては各箇所に1人の配置としていきたい。
集合場所（浄化センター西門）での受付責任者が時間になってもわからず、ピブス返却に集まってきた走路員は困っていた。	第11回大会は、係員を配置し、スムーズな回収ができています。
シールを張るキャップはあまりにも貧弱。予算的なことは理解するが、タオルは止めてキャップ1本にするとか考えて欲しい	第11回大会は、プリントキャップへ戻しました。
このあたりは往路は下り坂でしかも大勢のランナーがまとまって来る場所なので、カーブ前の道路幅はかなり手前から三角コーンで狭めると同時にランナーへの声かけ「この先カーブ、道幅せまくなります」が必要と思いました。(声かけしました)	JR東～市場割へ向かうコースで、三角コーンにて徐々に狭めていく対応をしている。今年度対応職員に改めて周知していきます。

【第10回大会】各区からの意見・要望

意見・要望	回答・第11回改善事項
興味がない方にとっては道路封鎖による交通制限、手伝いによる休日の時間拘束など不満が出るのは仕方ないこと。大会の認知を市民のみなさんに広げていくしかないと思います。 ・地域活性化に貢献していること、実際には経済効果がどれだけあったかなどを具体的に数値化して示すことが必要と思います。	具体的数値を出すことは難しいが、昨年度アンケートをもとにすると以下の通りです。 通常予算 約3,000万円 収支は同額 経済効果は平均で下記の通りです。 5000円～1万円使用 280万円 1万円～3万円使用 764万円 3万円以上 250万円 合計で、約1,300万円 (アンケート回答は1,000/4,000人) HPなどでの「公表」については(従前からして いないため)実行委員会で検討していきます。
駒ヶ根ハーフマラソンの経済効果と、収支を知りたいです。	
3連休の中日という風にして、少しでも駒ヶ根でお金を使っていただければありがたいです。	
ハーフマラソンの実施日は毎年9月の第四日曜日に決まっていると聞きましたが、五十鈴神社の祭典が毎年9月23日宵祭、9月24日本祭となっている為、両方がかぶる日が6年間で2回程度発生しています。この為、かぶった年の祭典当番区はハーフマラソンへの協力が出来ない状態になっています。 また、かぶった年の祭典では公民館のイス、机等も借りられず、業者から借りる音響機器もいつもの所からは借りられない状態で苦勞しています。五十鈴神社の祭典は、駒ヶ根市指定の無形民俗文化財である事をふまえ、祭典とハーフマラソンのかぶる年は、ハーフマラソンを一週間後に延ばすといった配慮をお願いします。(かぶる年の日程表を添付します。)	開催日は、例年、9月の最終日曜日での開催となっています。第11回大会(令和6年度)は9月29日となる予定です。
ハーフマラソン開催日は毎年9月第四日曜日に決まっているとお聞きしております。本年は大宮五十鈴神社例祭と重なってしまいたいへんに憂慮しました。五十鈴例祭は、毎年9月23日宵祭、24日本祭りとして115年前から決まっております。重なる事により文化センター他駐車場関係、道路の規制等思案をしなければなりません。5年後、2028年には同じ日程が巡ってきます。週をずらすなどの対応を希望します。祭典委員の方からも祭典と重なりマラソンに出られなかった、応援に行けなかったとの声を聞いております。	9月24日の開催となる場合は、(特に2028年は、国スポ開催時期も課題となるため)国スポとの関係も含め、今後の検討事項といたします。
選手誘導、交通規制に万全を期すためと思われるが、小さな交差点は複数の誘導員は不要かと思われました。	警察とも相談し、現状の人数配置となっており、安全面配慮から適切であると考えています。
走路員の集まる時間が早すぎる。	
ランナーの皆様が、帰りに駒ヶ根の直売所とか飲食店で使える地図やクーポン券を配布したらどうですか。	事前送付にて、おもてなし宣伝部から地域飲食店、施設で使用できるクーポンを配布しています。
下平区は今年度敬老会と重なり、走路誘導者を選考するに苦慮したが、時期的には良いのではないかと思います。	R5のみ重複したということで、次年度以降もお願いしていきたい。
全体的には良かったと思います。中沢区としては、中沢の他のコースも走って欲しいと思いますが、起伏が激しく難しいとも思います。	交通規制等の関係もあるため今後コース見直しなどの機会があれば検討はするが、難しい部分もあると考えます。